

鉄道敷地の整備について

目次

1 鉄道敷地の整備概要

- 1-1 鉄道敷地の整備について
- 1-2 緑道の整備イメージについて
- 1-3 各エリアについて

2 鉄道敷地における回遊性の考え方

- 2-1 鉄道敷地全体
- 2-2 にぎわい・交流エリア
- 2-3 うるおい・やすらぎエリア ※旧甲州街道・商店街・駅前広場を含む

3 にぎわい・交流エリア

- 3-1 にぎわい・交流エリアの概要
- 3-2 水木ゾーン（区間A：鶴川街道～調布西第2路上自転車等駐車場）
- 3-3 てつみちについて
- 3-4 映画ゾーン（調布駅前広場から（仮称）鉄道敷地公園（相模原線）へのアプローチ）

4 うるおい・やすらぎエリア

- 4-1 うるおい・やすらぎエリアの概要
- 4-2 情報発信ゾーン（区間B：調布東第2路上自転車等駐車場～布田南通り）
- 4-3 健康ゾーン（区間C：布田東路上自転車等駐車場～狛江通り）

1 鉄道敷地の整備概要

1-1 鉄道敷地の整備について

・鉄道敷地については、自転車駐車場及び都市公園等の整備を段階的に進めており、残る整備箇所はこれらの施設や調布・布田・国領の各駅前広場をつなぐ緑道（区間A，B，C）となっている。



緑道の整備イメージ



断面図



1-2 緑道の整備イメージについて

・緑道の整備イメージは、自然豊かな緑道の要素と都市的な緑道の要素を取り入れたものとする。（下図★のイメージ）

自然豊かな緑道

都市的な緑道



横浜 都筑緑道



国分寺西町緑地



世田谷 烏山川緑道



東横フラワー緑道

1-3 各エリアについて

- ・鉄道敷地は地域特性を活かした都市空間として整備するため、平成28年3月に策定した「鉄道敷地整備計画」において、調布駅周辺を「にぎわい・交流エリア」、布田駅・国領駅周辺を「うるおい・やすらぎエリア」に設定する。



●にぎわい・交流エリア

調布駅周辺は、市役所や文化会館たづくりなど市の主な公共施設、業務・商業施設などが集積しており、人々が集い、活気とにぎわいのある地域特性から地域資源を活用した魅力ある中心市街地を創出する。

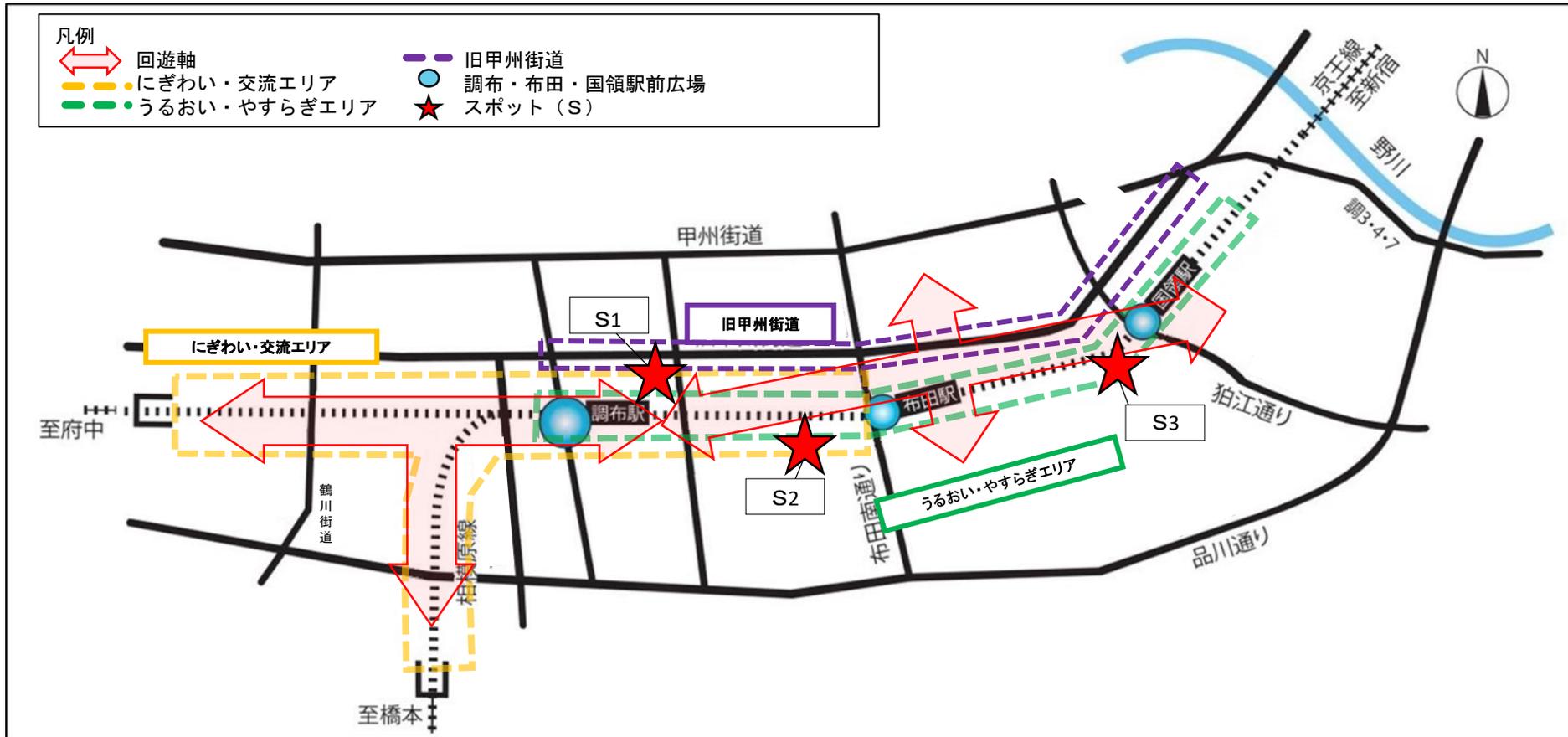
●うるおい・やすらぎエリア

布田駅・国領駅周辺は、緑地や農地などの自然と住環境が調和した良好な市街地を形成するために、緑豊かな都市空間を創出する。

2 鉄道敷地における回遊性の考え方

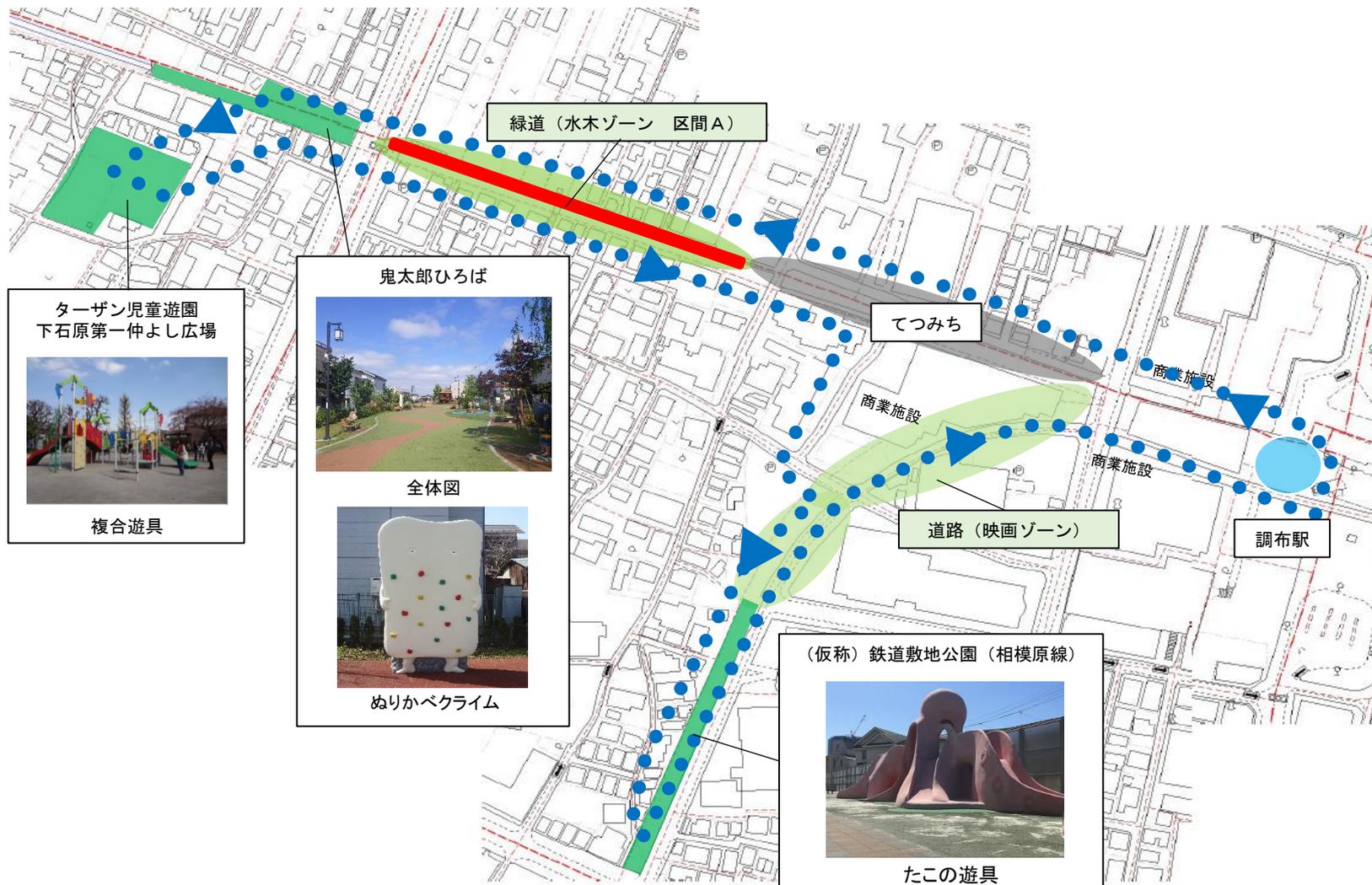
2-1 鉄道敷地全体

- ・ 緑道には各スポットに市民や来訪者が立ち寄りたくなるような仕掛けづくりを検討し、回遊性を創出する。
- ・ 旧甲州街道や周辺の公園施設等を含め、誰もが憩い楽しめる空間整備に向けて、鉄道敷地の整備を進める。



2-2 にぎわい・交流エリア

- ・「にぎわい・交流エリア」の回遊として、それぞれのニーズ（水木、映画、子育て）に合った回遊性を創出する。
 - ①調布駅から歩いて行ける映画を思わせる創意工夫のあるみち
 - ②ファミリー世代が歩いて楽しめる散歩・公園エリア
 - ③商業施設を利用しながら歩くことのできる鉄道敷地



3 にぎわい・交流エリア



水木ゾーン

- ・地域資源の魅力の向上と積極的な活用により、市民がまちに愛着と誇りをもち、多くの来訪者からも訪れたいと思われる、にぎわいのあるまちづくりをイメージしたデザインについても活用する。
- ・京王線開通当時の旧調布駅舎が位置していたことや、隣接してシネマコンプレックスが建設されたことから、鉄道・映画・映像関連をイメージしたデザインについても活用する。

映画ゾーン

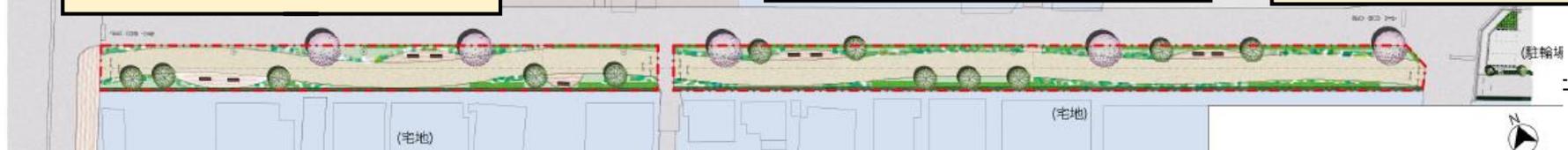
- ・調布市の特性である映画・映像関連企業が市内に立地していることや、調布駅周辺には多摩地域最大級のシネマコンプレックスも建設されたことから、「映画のまち調布」の特色を活かした、調布のまちの魅力の向上、地域活性化を図る。

基本の考え方

- ・ 鬼太郎ひろばとのつながりを持たせた緑道とする。
- ・ 歩行空間は緩やかな曲線とし、歩きながらゆっくり楽しめる空間とする。
- ・ フットライトを設置するなど、夜間でも歩いて楽しい空間を演出する。
- ・ 令和4年度の整備においては、水木キャラクターの配置を見越した空間、意匠とする。
また、植栽については、水木しげる氏の世界観を取り入れつつ、今後の設えに対応できるような樹種を配置する。
- ・ 将来的な整備に向けて、その設え等について今後も関係機関等と丁寧な協議を進めていく。

活用イメージ

- ・ 水木ゾーンのイメージを入れた設えとすることで、にぎわいと多世代が交流できるエリアづくりを行う。
- ・ 鬼太郎ひろばやターザン児童遊園など周辺の公園施設まで回遊できる楽しい緑道。
- ・ 水木ゾーンのイメージに触れながら歩くことのできるマップ作成を行う。



3-3 てつみちについて

》》 てつみちとは

- ・ トリエ京王調布C館北側の空間。現在は京王電鉄が土地を所有し、暫定利用を行っている。
- ・ シンボリックなベンチや子どもが遊べる人工芝等が設置されている。

》》 活用イメージ

- ・ 多くの市民に楽しまれている状況を考慮し、自由度の高い空間を整備する。
- ・ 水木ゾーンとしての設えを含んだ、商業施設等が利用可能な空間整備を行う。

》》 ほこみち制度の活用

● 歩行者利便増進道路（通称：ほこみち）

歩行者利便増進道路は、「地域を豊かにする歩行者中心の道路空間の構築」を目指すものであり、歩行者の安全かつ円滑な通行及び利便の増進を図り、快適な生活環境の確保と地域の活力の創造に資する道路を指定するものである。

- ・ 指定道路内に定めた利便増進誘導区域（特例区域）では、道路占用許可が柔軟に認められる。
- ・ 道路空間を活用する者（=占用者）を公募により選定することが可能になる。この場合、最長20年の占用が可能となる（通常は5年）。



- ・ 京王電鉄(株)が占用者となることを検討する。
- ・ 無余地性の基準が除外され、てつみち、緑道でのオープンカフェ等の出店に伴う占用が可能となる。
- ・ 初期投資のあるオープンカフェなどが従来よりも参入しやすくなる。

》》 整備イメージ



【現在】

民間企業オープンスペース てつみち

生活道路

【将来】

民間施設も活用可能なオープンスペース

2m歩行空間

生活道路

基本の考え方

- ・（仮称）鉄道敷地公園（相模原線）等まで歩くことを楽しめる空間とする。
- ・調布駅前広場から映画空間を思わせる道路を整備する。
- ・映画のまち調布の特色を活かした設え等について、今後も市内の映画・映像関連企業との調整を図りながら具体的に検討する。
- ・マンホール蓋、側溝蓋、舗装仕様、手形レリーフ、映画のチラシ掲示看板等の設置を検討する。

活用イメージ

- ・映画ゾーンのイメージを入れた散歩や楽しみスポットを創出する。
- ・調布駅から（仮称）鉄道敷地公園（相模原線）などの公共施設までアクセスできる空間とする。
- ・映画の世界をいつでも楽しむことのできる環境を整える。

● トリエC館付近の活用イメージ

映画ポスターフラッグ



映画に関する
デザインを使った
公共サインの設置



● 区画道路1号の活用イメージ

手形レリーフ



（彩の国さいたま芸術劇場）

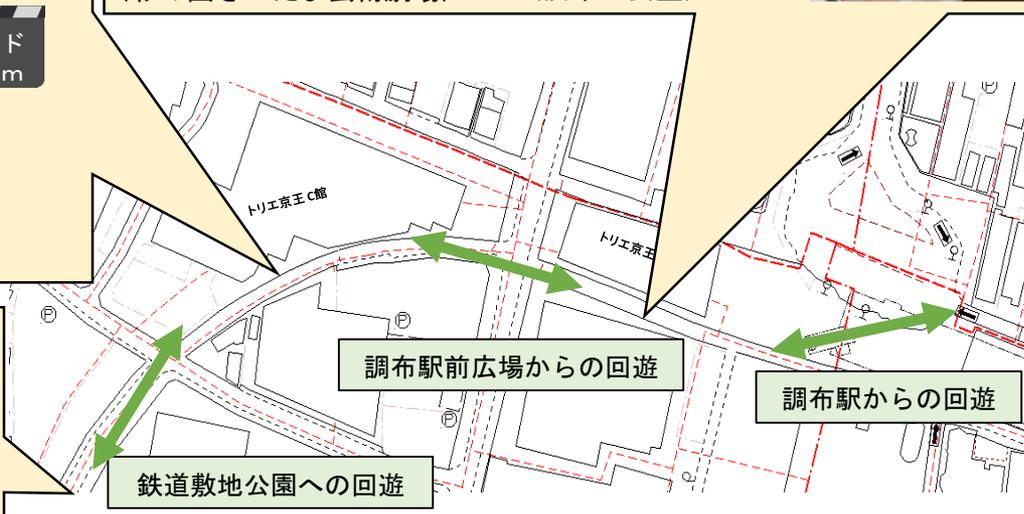
（浅草公会堂）

映画等広告



● 鉄道敷地公園の活用イメージ

映画・映像関連企業との検討を開始。映画のまち調布の特色を生かした公園の設えについて、市内の映画・映像関連企業との調整を図りながら具体的に検討する。



4 うるおい・やすらぎエリア

4-1 うるおい・やすらぎエリアの概要



情報発信ゾーン

- ・調布市及び鉄道敷地のほぼ中心に位置する地理的特性から、調布のまちの様々な魅力を市内外に積極的に発信する場とする。
- ・にぎわい・交流エリアとうるおい・やすらぎエリアが重複する区間でもあることから、2つのエリアが途切れるのではなく、融合し移り変わるような空間として、都心の緑空間を基本とした人々が集えるスペースなどの創出を行う。

健康ゾーン

- ・都市の緑を積極的に創出するための緑化につながる活動を支援するとともに、緑豊かな都市空間を散策しながら気軽に健康づくりが行える場を創出し、市民の健康づくりへの活動を支援する。

》》》基本の考え方

- ・人が集い、地域交流が生まれるよう、緑道脇の開けた空間を活用する。
- ・スポットは、地域での活用や日常的に人が集まれる空間とするため、樹木やベンチを設置し活用の幅を広げる。

》》》活用イメージ

- ・スポット (S1・S2) を活用し、キッチンカー等を誘致する。
- ・市民が自らSNSなどで情報を発信したくなるような写真スポットを設置する。
- ・商店会と連携し、駅前広場を活用したイベントを行うことでにぎわいを創出する。

●情報を発信したくなるような植栽



サクラ



カツラ



ミツバツツジ



ユキヤナギ



●写真スポット

鉄道をモチーフにした椅子 写真を撮りたくなるベンチ



(宇奈月温泉駅)



(東急南町田グランベリーパーク駅)

●イベントの実施



(布田駅前広場イベント風景)

▶▶ S1・S2 活用イメージ

市民が自らSNSなどで発信したくなるような設えの検討を行う。

S1, S2 情報発信スポットのイメージ

フォトスポットになる花壇



青空ヨガ



軽食・キッチンカー



線路風コース



(JR大分駅東線跡地)

ベンチ等空間



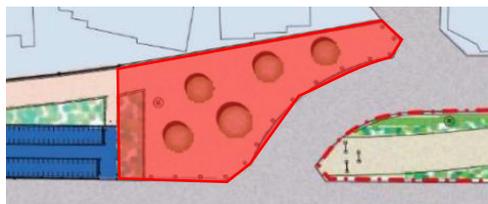
(北谷公園)

● S1・S2スポット拡大図

S1位置

場所：調布駅・布田駅間

面積（赤着色箇所）：約250㎡



S2位置

場所：調布駅・布田駅間

面積（赤着色箇所）：約500㎡



※歩行者動線を考慮し利用面積が減る可能性あり

》》 基本の考え方

- ・ 距離表示や歩幅スタンプ等を設置するなど、歩行を促進する工夫を行い、市民の健康増進に資する設えとする。
- ・ ストレッチなどの運動機能を付加したベンチなどを、適度に配置する。
- ・ スポットは、市内飲食店等によるオープンカフェ形式でのにぎわい創出を検討する。

》》 活用イメージ

- ・ 市民の健康に寄与できるよう、ウォーキングマップや距離を示す看板等を設置する。
- ・ 足に負担の少ない舗装を採用し、市民のウォーキングやランニングに取り組みやすい環境を整える。
- ・ スポット（S3）を活用し、キッチンカー等を誘致する。

● ウォーキング

距離表示



足に負担の少ない舗装



歩幅スタンプ



● ランニング

シャワーミスト



布田東路上自転車等駐車場

布田駅から国領駅等への回遊

国領駅への回遊

S 3

● トレーニング

健康器具付きベンチ



● 犬の散歩

▼ 犬も使える水栓



（特別養護老人ホーム翠華の里）

マーキングポスト▶



▶▶ S3 活用イメージ (オープンカフェ等)



ベンチのイメージ

S3 にぎわい創出のイメージ

キッチンカー



(調布市庁舎前庭)



(調布駅前広場)

オープンカフェ



(新宿モア4番街)

やすらぎを感じられる空間



(二子玉川ライズ)